

オートバイで戦場をかける  
WILD ONES

Cover Illustration  
M. Kelly (Satoshi Okada)  
© WORLD PHOTO PRESS 2022  
※本文中の価格は消費税込みの総額表示です。

CONTENTS

Saigon Memories

004 第47回 **サイゴン物語**  
記者たちのベトナム戦争 [24]

016 **TOPGUN** トップガン

まだ語られていない

020 **LST船員の記録** 第9回  
**UNTOLD SEAMAN BLUES**

032 **THE LONG-HAIRED ARMY**  
—解放戦線と北ベトナム軍の女性たち—

038 **ベトナムを遠く離れて——。**  
私的ベトナム戦争映画 / TVムービー Part 11 文/小倉 徹

ベトナム戦争 PACV Part 4

040 **デルタを遠く離れてエルキャックとして働く**  
**ACVの仕事場**

048 **Don't Give Up The Ship**  
諦めるな、最期まで 文/ベニート・A・トレヴィーノ CW2  
(米陸軍2等上級准尉)

054 **Militaria Roundup!**  
WW2ドイツ空軍ユニフォーム Part 1

The Equipments of the U.S. Force

061 **[現用米軍装備カタログ]**  
「海」装備特集 part 8 1990年代の強襲上陸装備  
特集LBTモジュラー・ベスト 後編 解説/松原 隆

070 **ウエスタンアームズ新製品レポート**

by SHOTGUN MARCY

- スプリングフィールド/タクティカル・サイレンサー・モデル
- ウォリアー・カスタム ジョン・ウィック・モデル  
マットブラックVer.

081 **東京マルイ 新製品レポート** by Takeo Ishii  
**次世代電動ガンH&K MP5SD6**



087 **THE グリーンベレー** 文/DJちゅう  
**GREEN BERET**  
GREEN BERET MOS18F/180A/18Z

092 **トイガンニュース**  
TANAKA WORKS  
モデルガン 五四式自動拳銃

ニッポンのちからこぶ ●写真と文/菊池雅之

094 **第3戦車大隊**

098 **新製品情報 COMBAT mono**

ボスゲリラ不屈のトイガン魂!

100 **サバゲ・マスカラ・コントラ・マスカラ!**

102 **サバゲ三等兵APS部**  
赤羽公式練習会レポート

COMBAT FRONT LINE

- 107 今月の中田焦点!
- 108 新作映画情報「女神の継承」『L.A.コールドケース』  
『バイオレンスアクション』
- 104 第23回 Stringer Blues 写真・文/横田 徹
- 106 レアミリタリーテクノロジー
- 109 読者PRESENT & CIC
- 111 奥付&次号予告



ミリタリースポッター

**The Spooky mark belonged with AC-130U gunship, which could fire miniguns mounted on the port side of the fuselage.**

**During Vietnam War, a series of sorties carried at night by the gunship performing a pylon turn, flying in a large circle around the target. Seeing the ghost spitting red flare against dark sky really spooked the enemy.**

このスプーキーは、機首の左側にミニガンを搭載していたAC-130U ガンシップに描かれていた。ベトナム戦争当時、このガンシップが大きな円を描くパイロンターンをしながら地上の目標を攻撃した。暗い夜空に赤い火を吐きながら飛ぶ機影は、心底、不気味で敵を震え上がらせた。



# WILD ONES

オートバイで  
戦場をかける

凄まじい轟音を残してジャングルの中に消えていくオートバイ。アメリカ陸軍がベトナム戦争で偵察パトロールのために導入したのはホンダの175ccバイクだった。

文/デイヴ・デマウロ4等特技兵 (THUNDER! 1969年夏号)  
構成/コンバットマガジン編集部 イラスト/M. Kelly  
Photo/U.S. ARMY, NARA, THUNDER!, WPP Collection





# UNTOLD SEAMAN BLUES

写真と語り / 木村 守 (元LST乗組員)  
文 / 吉野文敏 構成 / 編集部

CHỢ  
KHU PHỐ CAMRANH  
[第9回] 30.6.1967

まだ語られていない  
LST船員の記録

ドックフォーで体感した前線の緊迫感、  
北部の要衝・ダナンで進む大規模な新港建設、  
4回目の航海はベトナム戦争の別な一面を伺わせた。  
そしてダナンから南下する洋上で、  
LST船上では大規模な射撃訓練が行われた。  
何もない海の上には銃弾の水しぶきが無数に上がった。

カムランにできた新しい市場。看板に1967年6月30日という開設日が記されている。わずか2、3ヶ月前にできた新しい市場である。「鄙びた村が米軍の基地ができたことで、人もモノもどんどん集まってきて、あっちでもこっちでも何か建っている感じてたね」。





アメリカ軍兵士に“ブラックジャマ”と呼ばれたベトナムの日常着、アオババを着用した解放戦線の女性ゲリラ。袖に付けられた赤青二色の解放戦線記章がこれほどはっきりと見える写真は非常に珍しい。解放戦線では非戦闘時にアメリカ軍と南ベトナム軍による捜索をかわすため、この種の記章を着脱の容易なビンで留めていることが多いのだが、ここではミシンによってしっかりと縫い付けられているのが分かる。

# THE LONG-HAIRED ARMY

— 解放戦線と北ベトナム軍の女性たち —

文 / 鈴木健太郎 写真 / WPPアーカイブ、US ARMY、NARA、K. Imai

その慎ましい外見とは裏腹に驚くべき勇敢さと逞しさを解放戦線を勝利に導いた女性たち。Doi quan toc dai (長い髪の軍団) の名で敵味方の双方に恐れられた彼女たちと北ベトナム軍で軍務に就いた女性の活躍を、当時の貴重な写真の数々を通して振り返る。



1



2

1 解放戦線の女性幹部たち。中央に写っているのは1973年の和平協定に解放戦線外相として参加した“マダムビン”ことグエンチビン、隣は女性部隊を組織し、部隊の最高司令官となったグエンチディンで、二人は統一後のベトナムにおいて国家副主席を務めている。2 M1カービンの狙いを定める女性ゲリラ。アメリカ軍を翻弄するほどの機動力を持つ解放戦線と北ベトナム軍の中でも、女性の動きはとくに俊敏だったという。3 作物を収穫する解放戦線の女性ゲリラ。彼女が被っているブッシュハットは解放戦線と北ベトナム軍の双方で良く見られ、Mu Tai Beo (猫耳帽) という呼び名がある。4 M16ライフルを手に何やら談笑中の解放戦線女性ゲリラ。彼女たちが被っているノンラー (葉笠) はあご紐の色や結び方がそれぞれ異なっているのが非常に興味深い。M16ライフルが戦争後期に普及した改良型のフラッシュハイダーを備えているのにも注意。

3



4

中国を訪れた解放戦線の歌劇団と人民解放軍の女性が並んで合唱しているところ。供与された五六式半自動歩槍、即ち中国製SKSカービンを持つ解放戦線の女性たちは戦地ではあまり着用例のない二本爪の革ベルトを締め、胸にはベトナム共産党あるいは中国共産党との連帯を示すバッジを付けている。



全世界革命人民团结起来，打倒帝国主义，打倒现代修正主义，打倒各国反动派。毛泽东  
 REVOLUTIONARY PEOPLE OF THE WHOLE WORLD, UNITE, OVERTHROW IMPERIALISM, MODERN REVISIONISM AND THE REACTIONARIES OF EVERY COUNTRY! MAO TSE-TUNG



# US NAVY PATROL AIR CUSHION VEHICLE

## ベトナム戦争 PACV Part 4 デルタを遠く離れて エルキヤックとして働く ACVの仕事場

イギリスで発祥したACV エアクッション艇は、ベトナム戦争では、人の背丈を越す葦の原を横切り泥濘地だろうと河川や湖水、海など水の状況を問わずに高速移動していく姿が人の目を奪った。早い話が、ベトコンの度肝を抜いたのだった。メコンのデルタで、潜在能力は認められたものの、本格運用には至ることなく終わってしまった。だが、消えてしまったわけではない。現在はACVの強みを生かして揚陸艇として活躍している。その強みとは高速で自走できて、同時に自分でビーチングできる点である。通常の船がビーチングを実行したらそれはきつと、座礁と呼ばれるはずである。

構成/コンバットマガジン編集部  
訳/河村喜代子  
写真/米海軍  
Photos/US Navy

現在、アメリカ軍で運用されているエアクッション型揚陸艇のルーツは、ベトナム戦争中にメコンデルタで活躍したACVにつながっている。陸地だろうと、沼地だろうと、もちろん水上であっても、どのような地形であっても、ものともせずに、滑るように進む。壮大な水しぶきを上げて、バカでかい音をあたりに轟かせるところは、かつて、メコンデ

ルタで、ベトコンの肝を抜いた当時と変わらない。

そのACVは、今はランディング・クラフト・エア・クッションの頭文字を集めてLCAC エルキヤックと呼ばれている。

エルキヤックを開発するにあたり、2つのプロトタイプが検討された。一つは、ジェフAである。開発担当は、カリフォルニアのエアロジ

ェット・ジェラル社だった。もう一つはジェフBだ。こちらは、ルイジアナにあるベルエアロスペース社が担当した。ジェフBは、ベトナム時代に使われたベル社製SK-5をベースに、改良を加えた。2本のダクトと後部にあるプロペラで推進するところは、SK-5とまったく同じだった。

プロトタイプから製造段階へと、

進んだのはジェフBだった。

1982～86年度の防衛予算で、まず33艇のエルキヤックが手当された。1989年には15艇。1990～92年の各年度ごとに12艇ずつ。1993年に7艇の予算が承認された。現在までのところ、エルキヤックはトータルで91艇が建造されている。一番最後のエルキヤックが海軍に納入されたのは、2001年である。

最初に納入された15艇のエルキヤックの建造にあたった会社は、ニューオリンズのテクストロンマリン&ランド・システム社とアボンデル・ガルフポートマリン社だった。その後に納入された艇はすべて、テクストロンマリン社が建造している。

エルキヤックは高速である。約4フィートほど、水の上に浮いた状態

で移動する。直接ビーチングできる水陸両用船である。積載能力も健在だ。M-1戦車だって積める。60から75トンまで積載可能で、それでいて、40ノットのスピードを出せる。武器、装備、物資、人員を運べる。燃料は5000ガロンを搭載可能。燃費は時間当たり1000ガロンである。クッションを膨張させる空気は、ガスタービン駆動の4つのファンから供給さ

れる。それをフレキシブルスカート・システムの内側にためる。このスカートは、ゴム引きのキャンバス地できている。

アサルト・クラフト・ユニット5は、アメリカ海軍が、太平洋でエルキヤックを運用している部隊である。司令部はカリフォルニア州ベンデルトンの海兵隊ベースキャンピングに置いている。同部隊の任務は、陸

地へ直接ビーチングして、人員、武器、装備、補給物資を運搬することにある。部隊が抱える人員は400名を超す。部隊には、作戦を立案し実行する作戦部、メンテナンス部、補給部、トレーニング部、管理部の5つの部門がある。

ちなみに1991年の「砂漠の嵐作戦」時には、11艇のエルキヤックがヘルンバーク湾で任務に就いていた。

米海軍ビーチユニット7所属のエルキヤック21が、米艦船ボムリシャールのウエルドックに納まるようとしている。同艦は、遠征打撃軍の旗艦として、インド-アジア太平洋地区で発生するいかなる不測の事態にも対処すべく、水陸両用作戦の訓練に参加していた。2017年8月8日



# Don't Give Up The Ship 諦めるな、最期まで

構成 / コンバットマガジン編集部  
文 / ベニート・A・トレヴィーノ CW2 (米陸軍2等上級准尉)

数秒間は墜落、炎上以外の道はないものと思われた。しかし、副操縦士がコレクティブ・レバー（またはコレクティブ・ピッチ・コントロール；すべてのメイン・ローター・ブレードのピッチ角を全体的[コレクティブ]に変更する）を操縦し、機長が両手でサイクリック・スティック（またはサイクリック；すべてのメイン・ローター・ブレードのピッチ角を周期的[サイクリック]に変更する；ヘリコプターの移動方向を変化させるために用いられる）を制御することによって機体は正常な姿勢を取り戻し、惨事がギリギリのところまで回避された。

回転翼機操縦資格を取得した者ならきっと覚えているだろう。単独飛行訓練に入る前の段階で通常とは異なる飛行姿勢を目撃することがよくあったはずだ。ほとんどの場合、これらの飛行姿勢はパイロットが意図的に取ったもので、回復は可能だった。しかし、チャーリー（ベトコン）が君の乗ったUH-1ヘリコプターの水圧システムに銃弾をぶち込んでやろうと決めた時にはそう簡単には回復できない。不可逆バルブが被害を受け、サイクリックが150~200ポンドの圧力で君の方に向かってきた時にはなおさらだ。私もそうした身の凍るような恐怖の瞬間を経験したことがある。生き延びられたのはまさしく油断なく気を配るクルーと慈悲深い神のお陰としか言いようがない。

それは1969年2月24日午前11時30分頃、ベトナム共和国チューライ近郊でのことだった。毎朝行っている再補給任務もそろそろ終了という時、聞き慣れた声だが取り乱した様子で我々の部隊の極超短波無線の沈黙を破る声が響いた。「ミニットマン・エアクラフト！ 応答せよ！」

それはまさに絶叫だった。その後ふたたび沈黙が訪れ、ほかの10機と共に数秒間、この明らかな緊急事態に関する詳細を聞きたいと

願いながら待機した。

オペレーションズセクションの協力を得て無線搜索したところ、中隊のUH-1Hのうち1機が行方不明になっていることが判明した。行方不明になっているクルーが支援していた部隊からこのヒューイが最後に確認された大体の場所に関する情報を得た後、我々は搜索を開始し、約5マイル先に黒煙が高く上がっているのを発見した。近くに寄ってみると、2機のAH-1Gヒューイコブラ武装ヘリコプターが煙の上空を旋回しているのが見えた。現場まで約2マイルまで来た時、高度2600フィートで我々は.50口径機関銃攻撃を浴び始めた。この時点で我々は撃墜されたヒューイと同じ飛行ルートを飛んでいた。

私はクルーチーフとガンナーに、私が回避行動をとる間、制圧射撃を行なうよう指示した。高度が下がり始めた時、軽装備監視ヘリコプターが火元を低空偵察しているのが見えた。その偵察機の部隊名が分かったので、彼らの無線周波数に切り替え、軽装備監視ヘリコプターの協力を得てその地域を低空で偵察した。墜落したヒューイのテールセクションはまだ無傷で残っており、それを見てこれが我々が捜していた機であることが分かった。また、4名の乗組員は全

員シートにストラップで固定された状態のままで、全員が絶望的ということも明白だった。

周辺地域をさらに観察したが、墜落現場付近には生存者はいないようだった。我々は部隊のほかのUH-1H1機と共に着陸し、歩兵を数名降ろした。着陸後3分ほどしてから、このすぐ近くで敵が活発に動いていると歩兵たちから報告があった。兵力では明らかに劣っており、生存者を発見する見込みもまったくなかったので、我々はヒューイコブラ武装ヘリコプター2機の援護のもと、そのエリアを離れた。

搜索救助機の1機に乗り込んでいた大隊長が管轄区域外であったにもかかわらず兵士をこのエリアに送ってもいいと申し出てくれた。こうして、1時間以内に私は3機編隊を率いることになり、歩兵部隊が遺体回収のため墜落現場に戻った。ジェット戦闘機が2つの.50口径機関銃ポジションに攻撃を加えた。これらはヒューイを撃墜し、我々を銃撃してきた機関銃であることが後でわかった。全員がよくやってくれて、この出撃では一回も攻撃されなかった。

我々は兵士を降ろしてから近くの戦術的滑走路に向かい、兵士を回収する滑走路で待機中、近くの海兵隊小屋の屋根に大きな穴が開いているのに気付いた。それは前

日に追撃砲攻撃を受けたためとのことだった。そのため、指示を待つ間、その地域一帯を旋回した方が賢明と判断した。

高度約100フィートで、徐々に左旋回しながら、再びダイヤモンド型編隊になるように指示した。この隊形になりつつあった時、私は敵の銃弾が機体に当たる時の聞き慣れた音を聞いた。後で分かったことだが、弾は左座席の12インチ後ろの地点から入り、空の貨物コンパートメントを斜めに通過し、トランスミッションの後方壁の前側を通過して右側のサーボ機構に入っていた。

不可逆バルブが切断あるいは破損していたため、サイクリックが始めは軽い振動だったが徐々に激しく揺れ始めた。同時に、ゆっくりと左に動き、さらに早く動き始めた。

サイクリックは余りにも激しく振動していたため、私の身体も激しく振動し、無線で何か言っても何を言っているのか理解してもらえなかっただろう。サイクリックに後ろ向きにかかる圧力は150~200ポンドだった。このトラブルに気づくとすぐに私はコレクティブをリリースし、両手でサイクリックと格闘した。この時点で私はパイロットの方を見た。すると彼はサイクリックの所に来てくれて、一回転するのを何とか避けられた。私の背後の飛行隊形から後で報告







# Militaria Roundup!

## WW2ドイツ空軍ユニフォーム Part 1

メッサーシュミット戦闘機を始めとする多くの名機、そして100機以上撃墜のスーパー・エースの存在。さらに大規模な空挺部隊や地上戦闘部隊を保有したことで知られるWW2のドイツ空軍。本連載では以前に空軍空挺部隊の特集を組んだが、今回は各種制服と各種徽章、そして共に着用する各種アクセサリをメインで紹介していこう。

解説/菊月俊之 写真/青木健格 撮影協力/サムズミリタリ屋 <https://www.sams-militariya.com>、カンパタリオン!! <http://www.kampfbataillon.com/>

### ドイツ敗戦と空軍の再生

第1次大戦(1914~18年)の敗戦と戦後のヴェルサイユ平和条約により、ドイツはその軍備を大幅に制限され、航空兵力の保有を禁じられた。連合国はドイツに近代兵器の開発と保有を禁止し、1700機の航空機を接収。1920年5月にすべての飛行隊が解散され、ドイツが保有する飛行機は140機の小型商用機だけに限定されてしまう。しかしドイツ共和国軍「ライヒスヴェアー」の初代司令官ハンス・フォン・ゼークト將軍は将来の再軍備では航空兵力を重視し、第1次大戦中の航空将校150人を軍に温存。そして戦後に設立された民間航空会社ルフトハンザを空軍パイロット養成機関として活用した。ドイツは1922年にドイツはソ連と経済的相互援助を目的とした「ラバロ条約」を結ぶが、これは事実上の軍事条約だった。23年にはソ連領内に独ソ共同の航空基地が開設され、25年からパイロットの訓練と軍用機開発を行なった。しかし33年にアドルフ・ヒトラー(反共主義者だった)率いるナチ党(NSDAP/国家社会主義労働者党)が政権を掌握したことで、ソ連との協同関係は終結する。



再軍備宣言前に空軍の存在を秘匿する目的で1932年にドイツ航空スポーツ協会(DLV)が設立された。ドイツ空軍のユニフォームはDLVのものが徽章等を変えて継続使用されており、それはこの写真を見ても判る。写真はDLVの幹部で、画面中央が空軍司令官となるヘルマン・ゲーリング。

### 空軍国家徽章/HOHEITSZEICHEN

空軍の国家徽章は陸軍と海軍が同じデザイン(色が異なる)を使用したのに対し、空軍では独自デザインのものをを使用した。これはゲーリングの空軍ユニフォームに対する思い入れが反映されたと思われ、そのデザインは躍動的で空軍に相応しいものとなっている。将校はアルミの燃り糸を使用した手刺繍製(将官は金色の燃り糸を使用)で、下士官兵は綿糸で刺繍したものを着用した。



(撮影協力:カンパタリオン!!: Gy0305 LW将軍金胸鷲章/価格4950円)



(撮影協力:カンパタリオン!!: Gy0024 青灰空胸鷲章兵/価格1100円)



### メッサーシュミットBf109戦闘機

第2次大戦中のドイツ空軍を代表する名戦闘機で、原型は1935年に初飛行。翌年に勃発したスペイン内戦ではコンドル軍団に配備された機体が優秀性を発揮。以後改良を加えられて性能を向上し、45年のドイツ敗戦まで空軍主力戦闘機として活躍した。写真は44年10月から配備が開始されたG-10型。(Photo: U.S.A.F.)

### 再軍備と空軍の創設

1933年に政権を掌握したヒトラーは空軍の創設をナチ党No.2のヘルマン・ゲーリングに指示。これを受けて同年3月に「ドイツ航空スポーツ協会(Deutscher Luftsport Verband/DLV)」が設立される。DLVは表向きは民間団体だが、空軍設立のための準軍事組織だった。そして4月には航空省(Reichsluftfahrtministerium/RLM)が設立され、空軍の組織編制と人員の確保を開始。5月には陸軍から550人の将校が航空省に転出し、その後約4000人の将校と下士官が転出している。

1935年3月にヒトラーはドイツの再軍備を宣言。それまでの共和国軍は国防軍(Wehrmacht)となり、新しい軍種として空軍(Luftwaffe)が設立された。その翌年にスペイン内戦が勃発すると、ドイツは反政府軍を支援。義勇軍「コンドル軍団」を派遣する。スペインで空軍は貴重な実戦経験を積み、その中から戦闘機の2機編隊(ロッテ)、そして4機編隊(シュヴァルム)による新戦術を確立。39年に始まった第2次大戦では新戦術により空中戦を有利に展開し、事実上ヨーロッパの空を席巻することになる。

### アラドAr65戦闘機

新生ドイツ空軍が最初に採用したアラドAr65複葉戦闘機。再軍備宣言前年の34年に80機が空軍に配備されたが、表向きは小型スポーツ機とされた(胴体に民間登録記号を描いている)。Ar65はとくに高性能というわけではなかったが、実用的な機体で飛行訓練に使用された。



### ドイツ空軍のユニフォーム

ドイツ空軍設立の過程で触れたように、そのルーツは1933年に設立されたドイツスポーツ航空協会(DLV)だった。DLVは独自のユニフォームを制定しており、35年に空軍が設立されると、徽章等に変更を加えて空軍ユニフォームとなっている。ドイツ空軍のユニフォームは空軍総司令官ヘルマン・ゲーリングのデザイン(彼は着道楽だった)といわれることがあるが、実際にデザインしたのはWW1のリヒトホーヘン戦闘機隊の元隊員で、それを承認したのが彼だったというのが事実という。

ドイツ空軍のユニフォームは伝統的なドイツ軍ユニフォームは立て襟または折り返し襟ののに対し、開襟なのが最大の特徴だった。これは伝統を重んじる陸軍将校には異様に見えたようで、彼らは空軍のユニフォームを「平服ユニフォーム」と揶揄している。だが、ゲーリングがあえてドイツ軍ユニフォームの伝統を破ったのには理由があり、彼は新生ドイツ空軍をエリート集団として編制することを希望。そして将兵のユニフォームもそれに相応しいものを望んだからと言われる。ゲーリングが重視したのはなにより見栄えだったようで、創設初期に将校が着用した肩ストラップ付ベルトは陸軍・夏期の白服や礼服には海軍ユニフォームの影響が見られるとの指摘もある。

今回紹介するのは第2次大戦中に空軍将校が着用した通常勤務服で、その内訳は①トゥーフロック(ヴァッフェンロック) ②フリーガーブルセ ③ズボンおよび乗馬ズボン ④シャツ ⑤制帽 ⑥略帽子 ⑦フットギアとなっていた。そしてユニフォームに着用(佩用)する各種徽章と勲章が加わるが、それらに関しては順次紹介させていただく。



### 将校用制服(ヴァッフェンロック)

ドイツ空軍の将校用制服は通常軍装のほか、着装するアクセサリの違いでパレード礼装、正礼装、外出軍装などとして着用された。制服には37年導入のトゥーフロックと38年採用のヴァッフェンロック(次ページ以降で紹介)の2種類が存在するが、写真のオリジナルは高射砲部隊の大佐のヴァッフェンロックで、胸の勲章から着用者が第1次と第2次大戦で鉄十字章を授章したことが判る。

### 将校用飛行任務服(フリーガーブルセ) 制服(ヴァッフェンロック)

フリーガーブルセ(英語ではフライング・ブラウス)は飛行機搭乗用ユニフォームとして採用されたが、実際には下士官兵の通常勤務服として着用されるのが一般的だった。また、降下猟兵(空挺部隊)や空軍地上部隊によって野戦服としても広く着用されている。なおフリーガーブルセについては次回紹介の予定。

1940年の「英本土航空戦(バトル・オブ・ブリテン)」における第3航空艦隊司令官フーゴ・シュベルレ元帥(中央)と彼のスタッフ。元帥が着ているユニフォームは白の夏期制服で、スタッフが着用しているのは右がフリーガーブルセで、左がトゥーフロック。



### ヘルマン・ゲーリング(1893~1946)

空軍総司令官としてドイツ空軍ユニフォームのデザインに大きな影響を与えたヘルマン・ゲーリング。第1次大戦では戦闘機パイロットとして22機を撃墜。22年にナチ党に入党してヒトラーの側近となり、彼に次ぐナンバー2の権力者となった。彼は着道楽としても有名で、ドイツ空軍のユニフォームに関する書籍の中には彼の着用したユニフォームについて1章を割いているものが存在する。



### 下士官兵用制服(トゥーフロック)

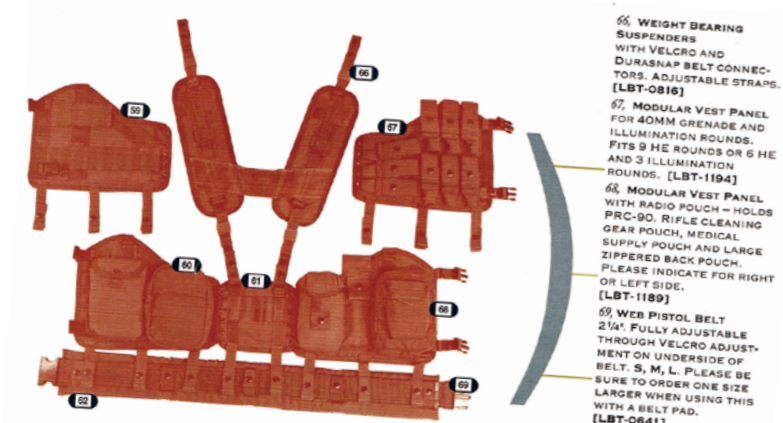
下士官兵用の制服は将校と基本的にデザインは同じだが、使用素材などに違いが存在する。写真は航空隊、あるいは空挺部隊所属の上等兵が着用したもので、襟の縁取りと襟章の台地、肩章の縁取りは兵科色の黄色となっている。ちなみに下士官兵用制服は正礼装やパレード礼装として着用されるのが普通だった。

### ユニフォーム着用区分(飛行服を除く)

①飛行任務服(Fliegerbluse)
②野戦服(Feldanzug)
③通常勤務服(Dinstanzug)
④衛兵軍装(Wachanzug)
⑤将校および上級下士官用略装(Kleiner Dienstanzug)
⑥点呼軍装(Meldeanzug)
⑦パレード礼装(Paradenanzug)
⑧外出軍装(Ausgehanzug)
⑨将校用正礼装(昼)(Grossen Gesellschaftanzug)
⑩将校用正礼装(夜)(Grossen Gesellschaftanzug)
⑪将校用略礼装(昼)(Kleiner Gesellschaftanzug)
⑫将校用略礼装(夜)(Kleiner Gesellschaftanzug)
⑬下士官兵用正装(Grossen Gesellschaftanzug)
⑭下士官兵用略礼装(Kleiner Gesellschaftanzug)
⑮将校用夏期軍装(Sommeranzug)
⑯運動着(Sportanzug)

空軍ユニフォームの着用区分はそれぞれ異なるユニフォームが存在するだけでなく、制服と共に着装する各種アクセサリ(短剣、ヘルメット等)が異なる。また将校と将官用の礼装は制服とは別に存在し、夜用の正略礼装は海軍の礼服に似たデザインのもので制定されている。なお、夏期制服の着用期間は毎年4月1日から9月30日までの間と規定されていた。





66. WEIGHT BEARING SUSPENSERS WITH VELCRO AND DURASNAP BELT CONNECTORS. ADJUSTABLE STRAPS. [LBT-0816]  
 67. MODULAR VEST PANEL FOR 40MM GRENADE AND ILLUMINATION ROUNDS. FITS 9 HE ROUNDS OR 6 HE ROUNDS. [LBT-1194]  
 68. MODULAR VEST PANEL WITH RADIO POUCH - HOLDS PRC-90, RIFLE CLEANING GEAR POUCH, MEDICAL SUPPLY POUCH AND LARGE ZIPPERED BACK POUCH. PLEASE INDICATE FOR RIGHT OR LEFT SIDE. [LBT-1189]  
 69. WEB PISTOL BELT 2 1/4" FULLY ADJUSTABLE THROUGH VELCRO ADJUSTMENT ON UNDERSIDE OF BELT. S, M, L. PLEASE BE SURE TO ORDER ONE SIZE LARGER WHEN USING THIS WITH A BELT PAD. [LBT-0841]

THE LONDON BRIDGE TRADING COMPANY MODULAR VEST SYSTEM HAS SEVERAL INTERCHANGEABLE PARTS. EACH PANEL IS AVAILABLE FOR THE RIGHT OR LEFT SIDE.

*About Our Modular Vests*  
 PLEASE INDICATE WHICH SIDE WHEN ORDERING.

# THE EQUIPMENTS OF THE U.S. FORCE

## 1993年制作ロンドン・ブリッジ・トレーディング・カタログ

前編で紹介したLBT-0816サスペンダーをさらに発展させたタクティカル・ロード・ベアリング・ベストタイプのモジュラー・パネル・システムを紹介する。1990年頃のLBT製品にはアクセサリを接続する金具がなかった事から、この1993年のカタログ辺りから本格的なモジュラー・ベストが完成されたと思われる。当時はABA製モジュラー・ベストからTAC-V1への転換時期であり、各社からALICEクリップで装着するベストやドット・ボタン&ベルクロ・テープ・ベストが乱立していた時期だった。LBTモジュラー・ベストの優れた部分は、ポーチをパネルごと交換する事で、ポーチの接続パーツが省略され、裁縫が丈夫になる事とベストが軽量となる事だ。ベストの構成はLBT-0816サスペンダーとLBT-1187背面パネルを中心に左右独立したモジュラー・パネルを組み合わせている。これにオプションでLBT-0990 SPEC OPSバックパック、LBT0902 SPEC-OPSミニ・フットバック、LBT-0641ウェブ・ピストル・ベルトとLBT-0815Aベルト・パッド等を組み合わせている。

### LBTモジュラー・ベストを構成するパネルの製品番号

- LBT-1188 E&E ユーティリティー・ポーチ (L/R)
- LBT-1189 AN/PRC-90ラジオ ライフル・クリーニング メディカル各ポーチ (L/R)
- LBT-1190 ALICE Clippedループ (L/R)
- LBT-1191 12ゲージ・ショットシェル・ポーチ (L/R)
- LBT-1192 H&K MP5マガジン・ポーチ (3本L/R)
- LBT-1193 M16マガジン (6本) M4マガジン (4本) 2ポケット (L/R)
- LBT-1194 40mmグレナード・イルミネーション弾ポーチ (L/R)

## グレナード・装備専用モジュラー・ベスト

ベストの構成はLBT-0816サスペンダーとLBT-1187背面パネルを中心にLBT-1190 ALICE Clippedループ (R) パネルとLBT-1194 40mmグレナード・イルミネーション弾ポーチ (L) パネルを使用している。



LBT-0990 SPEC OPSバックパックの下部の固定はサスペンダーのハーネスにベルクロで巻き付けるようになっている。



1990年制作のLBT-0816サスペンダーやLBT-0990 SPEC OPSバックパックにはオプションのアクセサリ金具がまだ不完全な状態だった。

### LBT-1194 40mmグレナード・イルミネーション弾ポーチ (L) パネル

横向きのパーチにイルミネーション弾を挿入しているが、どのポーチにも挿入可能になっている。フラップはベルクロのみ。

1993年製造のLBT-0816サスペンダー。サスペンダー・ハーネスの末端処理はダクト・テープを巻き付けて束ねている。



### LBT-1190 ALICE Clippedループ (R) パネル

上のALICEループは4つ、下のALICEループは6つのスリットになっている。不思議なのはこのパネルにはアクセサリ用金具が付属していない。

裏側にはマップ・ポケットが付属している。

裏側のマップ・ポケットは水捌けが良くなるメッシュ生地を使用している。



ベストの装着例。BDUパンツのベルト位置よりベストのベルト・ループが上に来る位置が最適だ。好みによるが右利き射撃の場合は40mmパネルが左にある方がM203グレナードに弾を装填しやすい。

ALICEループ・パネルには付属してなかったFASTEXで無理やり固定している。



1993年カタログのベルト・ループはドット・ボタンが1個に対して、こちらは2個に改良されている。

## 装着例





COB対応のキャリア・カスタム「SFAタクティカル・サイレンサー・モデル」。1990年代にSAが製作していたハイ・キャパシティ・クロン・ガバメントをベースに、より高度な戦闘能力をプラスした近代型セミオートが登場だ。



**WESTERN ARMS**

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY  
☎ウエスタン アームズ  
☎03-3407-5922  
<http://www.wa-gunnet.co.jp>

# WARRIOR CUSTOM JOHN WICK MODEL MATBLACK Ver.

## 21世紀の傑作ガンアクション・ムービーをイメージしたタクティカル系.45オート



スクリーンに展開する近代的なコンパクト・テクニックが、銃器ファンを虜にする21世紀の傑作アクションムービー「ジョン・ウィック」シリーズ。2015年に1作目が日本公開されて一大センセーションを巻き起こし、2017年、2019年と順調にシリーズを重ねてきた。2023年には、シリーズ最新作の「ジョン・ウィック:チャプター4」が公開される予定とこのことで、ファンは首を長くして待っていることだろう。

さて、1作目で主演と製作総指揮を務めたキアヌ・リーブスは、アメリカの著名なシューティング・インストラクター、アーロン・コーエンから近代的な戦術テクニックを学び、2作目以降は斬新なカスタム・デザインも行なう著名なインストラクター、タラン・バトラーの指導を受け、ガン・アクションをさらに過激に進化させた。グロックやSTI、ショットガンなどのTTIカスタムが数多く登

場するのも、トレーニングを担当したタラン・バトラーとの深い関係からなのだろう。

ハンドガンはもちろん、ショットガン、アサルト・ライフル、サブマシンガンなど、多彩な銃器をスピーディに扱う「ジョン・ウィック」のアクションは、2002年のアクション映画「リベリオン」で登場した当時話題のガン・アクション「ガン・カタ」に対して、「ガン・フー（※シューティング・テクニックとカンフーを融合させたアクションだそうだ）」と呼ばれる、現実性の高いコンパクト・テクニック。ベーシックなウィーパー・スタンスから発展したコンパクトなスタンス、ハンドガンを斜め横に倒して構えるC.A.R.S.（Center Axis Relock System）も、新たな構え方として定着しつつある。

近代型のセミオートが数多く登場する中、2017年の「ジョン・ウィック:チャプター2」には、キンバーのタクティカル系カスタム「ウォリアー」や、S&WのM1911SC/Eなど、比較的ベーシックなM1911系セミオートが登場して、ガバメント・ファンの目を楽しませてくれた。これに素早く反応したのがWA。すでにライ

※撮影用のモデルはプロトタイプのため、量産品とは仕様が異なる場合があります。



TOKYO  
MARUI



# 次世代電動ガン H&K MP5 SD6

発売以来大人気!  
品薄が続く  
「次世代MP5」に  
待望のバリエーション  
SD6が登場!

Photo & Text by Takeo Ishii  
株式会社 東京マルイ ☎03-3605-1113  
www.tokyo-marui.co.jp



## “対テロ部隊といえばMP5” を強く印象付けたSDタイプ

2度の世界大戦によって「市街戦に最適な武器」として認知されたSMG(=サブマシンガン=短機関銃)に、敢えてコスト上昇リスクを承知の上で「高精度」という付加価値をもたらすべく、戦後の西ドイツH&K(=ヘッケラー・ウント・コッホ)社で「プロジェクト64」として開発がスタート。やがて「マシーネピストーレ5型」つまり「MP5」として政府機関に採用されたのが1966年。

そんなMP5の中でもひととき異彩を放つ存在が銃と一体感のあるインテグラル・サプレッサーが圧倒的な迫力を湛えるSDタイプだ。「SD」はドイツ語の消音装置=Schall dämpfer(シャルデンプファー)に由来する。

H&K社でこのタイプの生産が始まったのは1974年からだという。そしてこの銃の姿を世界中に強く印象付けたのが1977年に発生した「ルフトハンザ航空181便ハイジャック事件」だった。

それに先立つ1972年、「人質全員と



2018年7月2日。リムバック2018にて多国籍特殊作戦チームを前にインテリジェンスブリーフィングを実施する1st SFG (A) 所属メンバー。



月刊  
**THE グリーンベレー**  
**GREEN BERET** VOL.44

# GREEN BERET MOS

## 18F/180A/18Z

文・写真/DJちゅう 重写真/U.S.ARMY

連載中、他の話題を挟みまくって紹介して参りましたグリーンベレーが持つ技能「SF MOSシリーズ」ですが、ようやく佳境を迎えました。今号と次号でついに感動のフィナーレです(予定)。MOS・モス・もすと延々言い続けてきたので段々とモスバーガー食べたくなくなるし、何でか「肥後もっこず」もぼんやり頭に浮かんで困っております。それはさておき。過去に18B(武器)、18C(工兵)、18D(医療)、18F(通信)と専門性の高いMOSを紹介しましたが、残すは18A(将校/チームリーダー)、180A(准尉/リーダー補佐)、18Z(シニア)、18F(作戦補佐情報)と、今までとはちょっ

と異なる管理職ポジション的なMOSが登場します。最小単位であるODA(Aチーム)を構成するのは基本12名のグリーンベレー。その12名の中に1名ずつしか配置されないのが残された上記のMOS達です。工兵とかメディックとか、使う物が分かりやすい専門職ではないため、いつものような装備スタイリングで差をつけろ!みたいな記事にはしにくく、割と地味な感じになっちゃいますが(すんません!)グリーンベレーとはなんぞやを語る上では避けて通れない項目ですので何卒お付き合ってください。これからグリーンベレーになりたい人が自分には何のMOSが向いているか考えながら

ワクワクする「13歳のハローワーク」ならぬ「12人のハローワーク」的存在でありたい「月刊グリーンベレー」

な訳です。あ、いま上手いこと言えましたね。はい、では今月も張り切って参りましょー。

**[MOSとは]** Military Occupational Specialtiesの頭文字を取って「MOS」と呼ばれるアメリカ軍における職種専門技能のこと。グリーンベレーは陸軍MOS特殊部隊18ナンバーに分類されたMOSを取得。18A(ODA指揮官/将校: Special Forces Officer/※以下Special Forces: SF)、18B(武器兵器: SF Weapons Sergeant)、18C(工兵: SF Engineer)、18D(医療: SF Medical Sergeant)、18E(通信: SF Communications Sergeant)、18F(作戦補佐情報: SF Assistant Operations and Intelligence Sergeant)や、もっとも高度な訓練を受けた18Z(シニア: SF Senior Sergeant) また特殊部隊資格取得前の18X(SF Enlistment Option)があります。12名のODA(Aチーム)は上記のMOSを持った隊員らが集まり構成されています。

**参考文献**  
参考文献: GO ARMY.COM[CAREERS & JOBS]、[Military.com]Special Forces Military Occupational Specialties、[MOSDb]、GlobalRecon「SPECIAL FORCES PRIMER: LESSON 1 - CORRECTING MISCONCEPTIONS」、NOTASEAL (Loren Schofield BLOG)







# 第3戦車大隊

現在、陸自が断行中の改編で、本州からすべての戦車部隊が一掃される。併せて、74式戦車もすべて引退させる計画だ。第3師団隷下の第3戦車大隊もそのひとつ。姿は消えようとも、皆の記憶にその雄姿を残すべく、同部隊は特別塗装の74式戦車を公開した。

去る2022年5月15日、千僧駐屯地(兵庫県伊丹市)にて「第3師団創立61周年ならびに千僧駐屯地創設71周年記念行事」が開催された。式典を実施した第3師団は、近畿2府4県を担当する政経中枢師団だ。大阪・兵庫、京都など、大都市圏を守る重責がある。その第3師団による“師団祭”が、SNS上で大きな話題となった。久しぶりに事前申し込みの必要ない、コロナ禍以前同様の一般公開となり、地域住民のみならず、日本中から多くの熱心なファンが詰めかけた。それも話題のひとつではあったが、もっとも注目されたのは、今回

の記念式典に特別塗装の74式戦車を参加させたことだった。このレアな戦車の姿は、SNSのタイムライン上で次々と写真がアップされ、それが瞬く間に拡散されたことで、多くの人を知る所となった。通常とは異なる「冬季迷彩」と「多用途迷彩」の2パターンがそれぞれ1輛ずつ用意され、これに「通常迷彩」の1輛が加わり、グラウンドに計3輛が並べて展示された。まず「冬季迷彩」は、第3師団の担任地区北部の積雪寒冷地に適応するためのもの。もちろん恒常的なものではなく、雪が降った時に行なう

一時的な迷彩塗装だ。そして「多用途迷彩」は、地形の色(茶)、建物・道路等や沿岸部等の色(黒・グレー)、積雪地の色(白)を配色した。これら74式戦車を運用するのは第3戦車大隊だ。歴史は古く、自衛隊発足の1952年に創設された今津特別訓練隊が前身となる。1954年10月5日、第3特車大隊が新編され、その後、1962年1月18日、現在の第3戦車大隊となった。大隊本部および本部管理中隊、第1戦車中隊、第2戦車中隊という編成で、主となるのが、番号の振られた2個戦車中隊だ。主装備として74式戦車が配備されている。

今回、特別塗装の74式戦車を用意したのはいくつかの理由がある。まず、3年ぶりの一般公開ということもあり、師団側には、何か新しい演出をして、来場者に喜んで欲しいという思いがあった。それも、ただ見せるだけでなく、任務や地域の特性も理解してもらいたいとの狙いも含まれていた。とくに日本第2の都市・大阪を守るということもあり、黒やグレーを配していることから分かるように「多用途迷彩」については、市街地戦闘を有利に戦うための塗装となっている。師団側には「最期の花道」を作っ

